
「EU における市場型金融システムの活用政策の現状と新たな金融上のリスク」

最近の EU においては「市場型金融システムの活用政策」が進んでいる。つまり、EU では、家計に銀行への預金ではなく投資の拡大を促す、他方で企業に銀行に加えて株式や債券による資金調達を促す政策が進められている。これが EU の経済や金融にどのような影響をもたらすのか、本研究会では検討する。

また、日本などの先進国では「新たな金融上のリスク」が浮上している。国際的な金融犯罪やコンプライアンス上の課題が指摘される中、レピュテーションリスクの顕在化が、流動性リスクに繋がり、最悪のケースでは金融機関が破綻することもある。このテーマでは海外事例(クレイディ・スイス、シリコンバレーバンクなど)や九州地域での事例を交えて、テクノロジーと心理学的なアプローチも加味して本研究会では検討する。

日本でも貯蓄から投資へ、という流れも増えており、EU の動向や投資にかかわるリスクや「新たな金融上のリスク」の最新の動向を抑えておくことは、日本経済や地域経済を理解するうえでも、タイムリーな問題である。

講師: 松下俊平(熊本学園大学商学部講師)

山本祐実(財務省九州財務局理財部長)

司会:春田吉備彦・熊本学園大学教授

日 時: 2025 年 12 月 18 日(木曜日) 14 時 40 分から 16 時 10 分

会 場: 熊本学園大学 新 1 号館みらい 3 階 133 教室

＜お申込み・お問い合わせ＞

〒862-8680 熊本市中央区大江 2-5-1 熊本学園大学商学部 春田吉備彦

TEL : 096-364-5162

FAX : 096-372-0702

E-mail : ki-haruta@kumagaku.ac.jp (申込締切: 12 月 17 日まで)